

第2回 愛南町防災休憩施設設計画検討会

説明資料(抜粋)

愛南町

令和2年8月26日

これまでの状況

○愛南町においては、津波浸水の影響が大きいと想定される御荘地区において防災休憩施設の整備の検討を進めており、これまでの検討状況について下記に示す。

＜施設の種類等については、現時点の想定であり、具体的には今後、関係者間で協議のうえ、検討するものとする。＞

＜施設概要(現時点の想定)＞

○施設規模:約10,000m²以上

○主な施設:

- ・情報提供施設
- ・災害時の防災拠点施設(平常時の地域交流施設)
- ・トイレ、芝生広場・園地
- ・駐車場(防災ヘリポート併用)



整備内容	災害時の機能(防災拠点)	平常時の機能(休憩施設)
1. 多機能型休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供施設 (道路被災状況等の情報提供) ・災害対策機能 (現地対策本部、役場のバックアップオフィス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供施設 (道路情報・観光情報) ・地域交流施設 (物産販売所、レストラン、売店等)
2. トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・停電・断水時に利用可能なトイレ 	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間対応のトイレ
3. 駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・道路啓開・救援・救護車両の集結地点 ・復旧活動拠点 ・小型ヘリポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通車用、大型車用、二輪車用、身障者用、従業員用、EV対応スタンド付の駐車場
4. 芝生広場	<ul style="list-style-type: none"> ・物資集積・配付スペース ・炊き出し所 ・救護テント設置箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場 ・ドッグラン
5. 緊急連絡路	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣防災拠点と連携 (災害対応関係車両以外の駐車、防災倉庫と接続) 	-
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用電源 ・貯水タンク、防火水槽は地下に建設 	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内のバリアフリー化

○第2回検討会は、第1回検討会で出された条件・意見及び計画段階評価で示されたインターチェンジ検討位置や松軒山公園との連携等を考慮の上、防災休憩施設の整備箇所について、検討するものである。

1. 第1回検討会の意見に基づく防災休憩施設の条件について

○基本方針

津波浸水時の国道56号の分断距離が長い等、防災機能の強化が喫緊の課題となっている御荘地区において、防災休憩施設整備を検討する。

<条件1>

防災休憩施設の規模については、施設に必要な面積をNEXCO設計要領等を参考に算出。10,000㎡以上を目安とする。

<条件2>

防災休憩施設の高さについては、御荘港での最高津波水位9.0mを考慮し、計画標高を最低15m以上で検討する。

1. 第1回検討会の意見に基づく防災休憩施設の条件について

<考慮事項>

- 松軒山公園との連携に重点を置き、園路の活用を検討。
- 防災休憩施設は、津波一時避難場所になると想定。
- 現在の津波一時避難場所は、20m以上の高さに設置。

<今後の検討事項>

- 防災休憩施設の具体的な機能について、今後検討。(ヘリポート、多機能施設等)



【検討方針】

計画段階評価で示されたインターチェンジ検討位置を踏まえ、防災休憩施設及び松軒山公園との連携を考慮の上、防災休憩施設やアクセス道路の配置を検討する。

2. 防災休憩施設の候補地(案)の検討について

<松軒山公園の園路活用にかかる検討>

○ 松軒山公園との連携に重点を置き、園路の活用を検討する。

(1) 公園管理者（愛媛県）の見解

→ 公園利用者への影響がないということを前提として、支障がないよう
十分配慮すれば概ね問題ない。

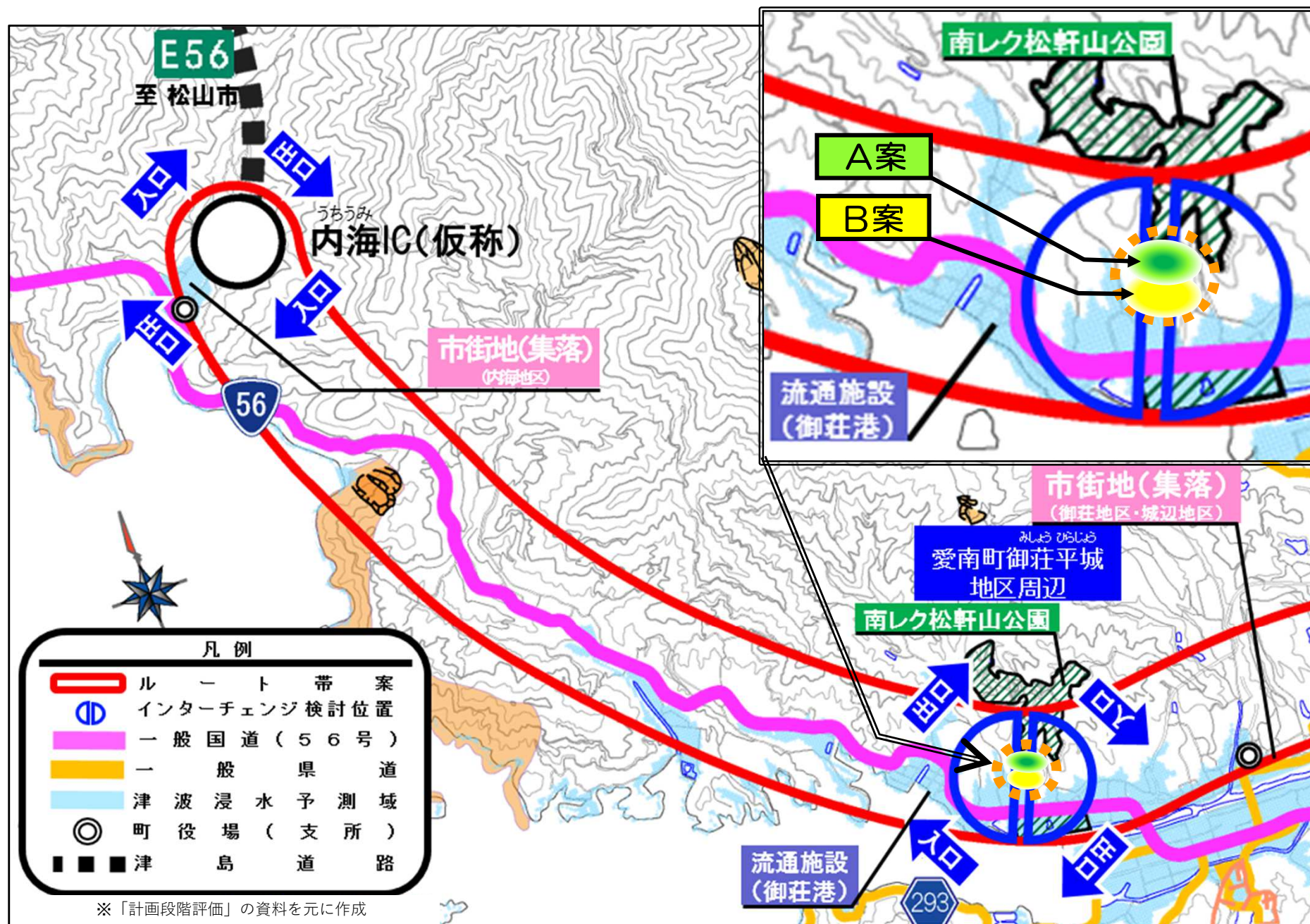
(2) 園路を活用することで得られるメリット

→ 工事費や用地買収費用等を抑制する事が可能。

上記を踏まえ、アクセス道路の検討については松軒山公園の園路を活用することとする。

2. 防災休憩施設の候補地(案)の検討について

(1) ルート帯・インターチェンジ検討位置と松軒山公園を踏まえた検討案



(1) 周辺地域への影響を考慮し、極力高台へ設置した案

A案

<概要>

- 災害時における防災拠点（松軒山公園）との連携のしやすさは、B案と同等
- 国道56号交差点からの距離は約550m
- 標高は約30m（一時避難場所の標高は約20m）
- 住宅地への影響が無い
- 工事中、B案より住宅地から遠い
- 施設へのアクセス路は、松軒山公園の現行園路を活用可能

※概略検討の段階であり、確定したものではありません。

(2) 国道からのアクセスが近く、日常の利便性に優れる設置案

B案

<概要>

- 災害時における防災拠点（松軒山公園）との連携のしやすさは、A案と同等
- 国道56号交差点からの距離は約260m
- 標高は約15m（一時避難場所の標高は約20m）
- 住宅地への影響が有る
- 工事中、A案より住宅地に近い
- 施設へのアクセス路は、松軒山公園の現行園路を活用可能

※概略検討の段階であり、確定したものではありません。